

特集 グループホーム



「疫病退散！アマビエさま製作中」
駒沢生活実習所

トピック

持続できる法人としての 役割拡大と寄付文化の醸成

先が見えないコロナ禍の中、生きにくさを抱えた人への影響は益々深刻化し潜在化する傾向にあります。格差の拡大と固定化が進み、年金・医療・介護を通じた支助力強化が必要になっていきます。また、経済的貧困に加え、孤立という社会的貧困も同時に進行しています。更に、地域や企業、家庭の機能が低下し、法や制度で対応できない狭間がますます開き、これまで居場所があった人も失う可能性があります。

すでに顕在化している8050問題、ひきこもり年代層の拡大、社会的入院、社会的養護、女性への性虐待と自立支援、刑余者の支援、LGBTへの偏見等に、コロナ禍の混乱が加わり、社会福祉法人の役割と期待は増大しています。

私たちはこれまで、上記の問題に支援を行っていますが、体制も人材も資金も不十分です。それでも、今までの実績から、他県からの相談も多くなってきました。現状では、制度の狭間で生きにくさを抱えた人からの様々な相談に対応できませんが、これまでに繋がった団体や個人（更生保護法人、矯正施設、弁護士、精神病院や精神科医、CSR等）をつなげた企業、大学、ひきこもりやLGBTの支援団体、薬物やアルコール依存の支援団体等）のネットワークを生かし、断らない相談支援事業所の開設を計画しています。

上記のような公益活動の資金とは別に、法人として深刻な問題は、施設建て替えや災害が多い地域からの施設移転のための土地取得、建築費等の資金調達です。社会保障費の漸減は必至なため、企業等からの寄付金集めを本格的に進める必要があります。その為、今年度からコンサルタントを導入し、寄付に関する制度やファンドレイジングの理解、助成金の獲得方法の検討、寄付を集める専属職員の選定や研修計画を進めています。寄付文化が根付いていない日本で、年間1億円を集める法人もあります。企業としてもSDGsを見据え、社会貢献を重要と考えているため、各施設の地域公益活動を地道に進めることで、社会福祉法人としての信頼を得、寄付金を獲得し、災害に対応できる利用者居住環境の提供と複雑化する社会課題の克服に貢献できる社会福祉法人になりたいと考えています。

特集

グループホーム

しろがねホーム (港区)

おおいずみまちホーム (練馬区)

練馬福祉園では、「しろがねホーム」と「おおいずみまちホーム」の2つのグループホームをバックアップしています。

しろがねホームは、軽度の知的障害を持つ方のグループホームです。所在地が港区白金なので、赤坂や麻布に働きに出る方や、テレビ撮影が頻繁に行われる外苑西通り(プラチナ通り)を散策される方もいます。ホームでは、一人ひとりの意思決定を最大限に尊重して支援を行っています。

おおいずみまちホームは、平成31年1月に開所した重度の知的障害や身体障害を持つ方のグループホームです。

ホームの生活は入所施設では体験できない、いくつかの特色があります。キッチンからは包丁の音やご飯の炊けるにおい、おかずやみそ汁の香りが自然に伝わってきます。お風呂を待つ間に好きなテレビを見る方、職員と談笑する方など、家庭的な雰囲気の中で、皆さん思

環境が整っています。

支援は手厚く、とにかく安全に。そう思われることは、当然かもしれません。あえて少し離れた所から見守ることで、入居者皆さんのニーズに合った環境を提供しています。今後も利用者ライフスタイルに合わせた柔軟な対応を目指し、サポートしていきます。



マンションタイプのハチウエルラボハウス

柘植寮

(伊豆大島)

柘植寮には、現在男性1名・女性2名の方が在籍しています。利用する方の多くは、大島恵の園や第2大島恵の園の入所を経験し、実習等を経ている方です。自立がテーマの生活寮は、入所施設で味わえない自己管理の生活を楽しめます。小遣いの範囲で有料テレビ番組の契約や、レジン作りの趣味を楽しむ人もいます。

就労の場合は、大島恵の園と第2

い思いに過ごされています。

おおいずみまちホームの最大の特徴は多様性です。様々な障害がある利用者の方だけでなく、携わるスタッフも特別支援学校の元先生、飲食、運送、服飾、学生や留学生など、年齢以外にも経歴、国籍など多種多様です。重度の障害があっても住み慣れた地域で暮らせるよう、多様性を生かした支援をこれからも続けていきます。



おおいずみまちホーム全景

ふじもりホーム・ハチウエルラボハウス (八王子市)

ふじもりホーム・ハチウエルラボハウスは、定員20名の大所帯の

大島恵の園が中心です。元来産業が少なく公共交通に限界のある大島では、施設が就労の場にならざるを得ません。また、馴染んだ場所安心して働ける一方、施設以外の方と関わる機会が少ない欠点があります。

また、柘植寮は通過施設の機能も持っています。就労や自立生活を体験し自立心の成熟度が上がった頃に都内のグループホームへ移ることも可能です。大島では味わえない様々なインフラが揃う都内へ移ることを目標に、自立の経験を積んでいきます。実習という形で、地域の職場で体験を積み重ねてもらっていますが、以前から体験の場を提供して下さる波浮保育園で現在1名の方が、都内への転出を目指して頑張っています。

働くことと自立訓練の他にも楽しめる機会をと、ドライブやハイキング、おやつ作り等の機会を用意しています。いつ何をするのかも、利用者の方たちと相談して決めていきます。(バックアップ施設・第2大島恵の園)



三原山ハイキング

グループホームです。一般的なグループホームのように一軒家で共同生活をするユニットふじもりホーム(定員4名)とワンルームマンションで、一人暮らしに近い環境のハチウエルラボハウス(3ユニット)定員16名に分かれています。

ふじもりホームは、利用者の帰宅時間から午後8時まで世話人が常駐しており、作業所に通所している方を主な対象としています。笑顔があふれ、困った時は、みんなで助け合いながら和気あいあいと生活しています。夜間や緊急時は、八王子福祉作業所がバックアップしています。

きたまちホーム(練馬区)

きたまちホームは平成24年9月に開設、9年目を迎えました。小平福祉園がバックアップ施設で、利用者の多くは北町福祉作業所に通所していることから北町福祉作業所の職員と連携を取り運営をしています。そして比較的隣の方が世話人、生活支援員として利用者の支援をしています。ホームでは、誕生日会、季節や祭事に合わせたお祝いや会食等を催し、様々な体験ができる機会を設けています。また令和2年度から土日、祝日も利用可となり、ご本人との会や部屋の整理清掃、ホーム片付けや飾り付け、昼食の買い物等を生活支援員と一緒に進めています。

利用を希望する方が少ないため、今後は魅力的な催しで週末、祝日もホームを利用したいと思っただけの企画を提案していきます。



「おめでとう」誕生日会

むさしの武蔵野

レジ袋 有料化スタート

経済産業省は、プラスチック製買物袋の有料化に向け、容器包装リサイクル法の関係省令を改正、7月から全国一律でレジ袋有料化の義務化(無料配布禁止等)を行い、消費者のライフスタイル変革に繋げたいという狙いから有料化がスタートしました。違反者には、50万円以下の罰金(容器包装リサイクル法 第46条の2)が課せられます。

そもそも、日本は、国民一人当たりのプラスチック容器や包装ごみ等の廃棄量は年間32kgで世界2位です。更に国内のレジ袋使用量は、年間20万トン程度、1年間に占める廃プラの2%程度を占めています。プラスチックごみは自然界では分解されず、海に流れれば微細な粒、マイクロプラスチックとなり、海洋生物の生態系に影響を与え世界的に大きな問題になっています。また、今年の6月には、重さ8キロにもなるレジ袋を飲み込み、餓死したクジラがタイで見つかり、ウミガメ同様、大きな話題に

なりました。タイは世界的にもレジ袋の利用が多い国とされ、この悲報をきっかけにレジ袋の利用を見直す動きが出たとされています。生物学者がレジ袋有料化の対策を提唱したことに続き、タイ関係省庁や自治体、企業などの約20団体は、2027年迄にプラスチック廃棄物の半減を目指す覚書に調印したそうです。この様な他国の取り組み事例を参考に環境問題にもっと目を向ける必要があり、我が国に広まってしまった使い捨て文化の見直しに繋がるよう、社会全体で考える時に来ているのではないのでしょうか。

今回のレジ袋有料化では、施設での屋台(模擬店)、フリーマーケット、その他の販売等の持ち帰り袋については、対象外になりましたが、プラスチックごみや持ち帰り袋等の使用を減らすためには、紙袋・紙容器等の使用や持ち帰り袋の利用の有無を聞き、ごみ削減に向けての理解と協力を求める取り組みが、今後益々必要になるのではないのでしょうか。

希望の里

施設長 福田 信行

サライ (八王子市)

市内長房町にあるサライは、現在4名の利用者が日常生活を共にしています。女性1名、男性3名それぞれが近隣の作業所等に通い、うち1名は障害者雇用で、ユニクロに勤務しています。

地域生活では、住民皆さんとの交流や支え合いがあり、定期的に避難訓練や地区の防災訓練に参加しています。また、長房町の夏祭りにも招待されていて、毎年楽しみに行事のひとつになっています。(バックアップ施設・希望の里)



おいしい夕食

ふあみりあ (千代田区)

ふあみりあはJR御茶ノ水駅徒歩4分の立地にあります。ここはグループホームとショートステイ(定員各4名)を併設しており、同じメンバーと毎日顔を合わせるのではなく、色々な利用者の方と交流を図ることや自立に向けて配

膳や下膳、洗濯などの訓練が行えます。浴室は一般家庭にあるような一人用の浴室です。入浴時間は一人1時間までとゆつたり入浴することが出来ます。

その他に千代田区立障害者福祉センターえみふるでは地域の利用者の方向けにパソコンを設置している為、開館時間中であれば別フロアにあるパソコンの利用も可能です。また、無料Wi-Fiも設置しており、インターネット環境も整っています。

近くには江戸三大祭および日本三大祭の一つに数えられる神田祭が行われる神田明神や日本初の全天候型多目的スタジアムである東京ドームが徒歩15分圏内にある為、休日は散歩に行ったり、チケットが手に入れば野球観戦やイベントなども参加出来たりと充実した休日をご過ごせます。(バックアップ施設・千代田区立障害者福祉センター)



神田明神前にて

からすやまホーム (世田谷区)

からすやまホームは京王線芦花公園駅に近い閑静な住宅街にあり

ます。2階建て一軒家で庭に桜やあじさいが咲く家庭的な雰囲気があり、現在4名の方が生活されています。

皆さん就労している中で、日常生活でのご近所付き合いや交流機会は多くありません。そこで毎年4月に、ご近所の皆さんへホームの共有スペースや庭を開放し、見学や交流の場となる「さくら交流会」を行っています。当日はお菓子を準備してお客様を迎えます。子ども達と一緒にゲームをしながら笑い声が響きわたり、庭に用意したお茶席から桜を眺める方もいます。おかげさまで毎年参加者も少しずつ増えていきます。グループホームをもっと身近に感じていただき、ご近所の一員となれるよう交流会をはじめ、町会活動、地域防災訓練にも積極的に関わっています。コロナ禍で今年の交流会は開催できませんでしたが、来春には開催できることを心待ちにしています。(バックアップ施設・世田谷区立烏山福祉作業所)



ホームの前で全員集合

ニユース ラウンジ

大地震+新型コロナ対策 食形態に合わせた 災害食の試食

東堀切くすのき園

法人事業所では、感染症対策で様々な行事の見合わせが続いています。当園でも皆さんが楽しみにされていた宿泊旅行や一日外出を中止にせざるを得ない状況です。それでも利用者の皆さんには楽しく有意義な毎日をご過ごしていただきたいと検討を重ね、そのひとつとして9月12日に、災害用備蓄物品の棚卸しと補充を兼ねて災害食の再検討と試食会を行いました。当日は、震度5以上の地震を想定し、安全確保策を全園で取ったうえで、厨房機能が停止した場合を想定した食事提供訓練を実施しました。職員は手分けして防災備蓄倉庫から保存食を取り出し調理にあたります。当園では摂食嚥下機能に対応した食事も必要なので、ペースト食、やわらか食などに対応したレトルト食材を使用しました。今回はカレーライスを提供。ご飯は常食、お粥、ペーストに加え、分量も個々の利用者に合わせて調整するためひと苦労でしたが、利用者の皆さんの評判は大変良かったです。もちろん食事情場では感染防止を十分に心掛け

た介助を行いました。

当園は地域の福祉避難所に指定されているため、緊急時の利用者支援と合わせて、近隣地域の要援護者の対応も日頃から準備しています。

保存食は食べる機能に障害がある人の製品もたくさん販売されています。今回の取組みを活かしながら、さらに災害時に備えた取り組みに力を入れていきます。



食べる方の食機能に応じて調理

わたぼうし祭

八王子生活実習所

コロナ禍で様々な行事が中止になる中、八王子生活実習所では「どうすればできるか」を徹底的に考えて「わたぼうし祭」を開催しました。当初は中止もやむなしの雰囲気がありましたが、基本的な感染予防対策は無難なこと、地域や外部の方をお呼びしない、ソーシャルディスタンスを確保する、一部屋の収容人数を制限する、リモートでアトラクションと各グループをつなぐ、といった工夫で乗り切ることができました。模擬店は、定番の焼きそばに焼き鳥、フランクフルトにアメリカ



西水元あやめ園

敬老会を9月13日、20日に開催しました。今年度は感染予防のため、残念ながらご家族の参加はご遠慮いただき、少ない人数での会でした。それでも、20名の賀寿の方々と皆さんの健康と長寿を、あふれる笑顔でお祝いすることができました。

さくら学園

学園では、外食ができないこの時期、利用者さんに楽しんでいただく取り組みとしてセブンイレブンを活用しています。利用者商品写真を見てもらい注文すると、すぐに配達してくれます。そして園内のさくらハウスでおやつタイムです。

世田谷福祉作業所

普通救命講習を受講しました。「コロナ禍なので人工呼吸はやらない」等、こういうところにも影響があるのだと再認識しました。しかしこれもワクワク感が開発されればまた変わるのでしょうか。常に最新情報を入れておかねばという学びも得ることができました。

大島恵の園

昨年の台風被害の教訓を活かし、停電対策で食堂と厨房、1・2階談話室に非常用LED照明を設置しました。家族会から寄贈していただいた発電機から電源を取り、停電時も明るい中で食事が出来る環境を整えました。

白鳥福祉館

今年のは地域の盆踊りがコロナの影響で中止となり、利用者のみならず皆さんもがっかり。このため職員が手作りの法被を作り、踊りや輪投げ、魚釣りなどのゲームを行い、楽しい一時となりました。

八王子市心身障害者福祉センター

開所から40年が経過し、建物修繕が必要な箇所が多く見られるようになりました。懸案の一つであった雨樋修繕を先日おこない、降雨時の雨水が滝のように溢れ出していた状況が解消され、安堵しています。

北町福祉作業所

コロナ対策で使用する非接触体温計を、新型に変更しました。以前より離れた距離から計測できる為、被検温者と測定者の距離を保つ事が出来ます。受注業種等、来所者が多い施設の為、必需品であり今後も大切に使用していきます。



映像で楽しむ、のど自慢大会

法人単位貸借対照表
令和2年3月31日現在

(単位：円)

Table with 8 columns: 資産の部 (流動資産, 固定資産), 負債の部 (流動負債, 固定負債), and their respective values for current and previous fiscal years, along with changes.

法人単位事業活動計算書
(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

Table with 4 columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). It details income and expenses from various activities.

平成31年度決算報告書

前号の春夏秋冬で事業報告を掲載させていただきましたが、
コロナ禍のため評議員会の開催を延期したため、今号にて決算報告を掲載させていただきます。

社会福祉法人名 社会福祉法人 武蔵野会

法人単位資金収支計算書

(自)平成31年4月1日(至)令和2年3月31日

(単位：円)

Table with 4 columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B). It details the flow of funds from income and expenses.



臼と杵を

いただきました

八王子生活実習所

台町1丁目町会様から、サプライズで、臼1台と杵4本をいただきました。何うと、子供の人数が減っていること、つき手がいないことが大きな理由だとか。地域の文化や伝統が無くなっていくことは非常に残念ですが、八王子生活実習所ですっかり受け継いでいきます。



町会から寄贈いただいた臼と杵

お知らせコーナー

11月

- 5日(土) 永年勤続者表彰 (法人)
- 7日(土) 実践事例報告会 (練馬地区)
- 13日(木) 葛飾区障害者作品展(東堀切くすのき園)
- 19日(水)
- 14日(土) 実践事例報告会 (葛飾地区)
- 20日(土) 実践事例報告会 (世田谷地区)

12月

- 18日(金) クリスマス会 (東堀切くすのき園)
- 25日(土) クリスマス会 (八王子生活実習所)
- 26日(金) 餅つき会 (八王子生活実習所)

新型コロナウイルス感染症予防のため、行事の開催を中止・縮小する場合があります。開催の有無等、詳細は各事業所にお問い合わせください。

ショーケース 自主生産品紹介

ハーバリウム

白鳥福祉館

☎03・3604・0034

生活介護グループで自主生産品の制作を行っています。その一つが「ハーバリウム」です。昨年利用者の方と一緒に取り組んでいますが、近く共同販売所「プラスチョイス」でも販売を始めました。ハーバリウムは贈り物や装飾品として人気があります。

是非お買い求め下さい。お値段は、250円、500円、と、大変リーズナブルです。



綺麗なハーバリウムができました

お歳暮セット

八王子福祉作業所

☎042・626・0631

お世話になった大切な方へ、今年も心のこもったお歳暮セットはいかがでしょう。毎年好評をいただいている当作業所自慢の手作りスイーツ詰め合わせセットは、それぞれが単品でもお買い求めいただけます。お値段は、2500円〜3000円。皆様のご注文を心よりお待ちしております。クリスマスケーキ(2600円)のご予約も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



毎年人気のお歳暮セット(大)

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する27施設と9つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931
東京都八王子市台町1-19-3
電話・FAX 042-626-9772